

地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金事業 検証結果(令和元年度分)

交付対象事業の名称	事業概要	事業費 (うち交付金充当額) 【単位:円】	重要業績評価指標(KPI)				今後の方針	外部有識者の総評	
			指標名	単位	目標値 (増加分)	実績値 (増加分)			
<b>地方創生推進交付金</b>									
1	稼ぐ力で自立するハイブリッドビジネスサポートシステム構築事業	◆目的 「つくる・加工する」支援のAma-bizと、「売る」支援の天草宝島物産公社の支援を連携させることで、さらなる売上アップにつなげる。 ◆内容 【ニーズ調査等】天草宝島物産公社 ・取引業者と取扱商品等の現状調査を行い、商品毎の売れ行きやニーズを調査。 ・ブラッシュアップが必要な商品や、ニーズが見込める商品等を洗い出す。 【商品力向上】Ama-biz ・物産公社の情報のもと、中小企業者や生産者とともに商品改良等に取り組む(ブラッシュアップ)。 【売り込み】天草宝島物産公社 ・新たな取引先へ、ニーズに応じた商品を売り込む。 ・大市場である関東圏域への売り込みを強化する。	52,917千円 (26,458千円)	天草宝島物産公社での取引先業者数  天草宝島物産公社を通じた売上額	社  千円	47  40,036	64  79,699	◆事業内容の見直し(改善)を行う  ・Ama-bizと天草宝島物産公社が連携する形(ハイブリッドビジネスサポートシステム)が構築されたことにより、ほぼ予定どおりの成果を見出すことができているが、更にお互いの組織の強みを生かして、売れる商品の開発及び、市内の生産者・加工業者等と都市部等取引先とのマッチングを推進するため、以下の取り組みによる連携の強化を図る。  ①Ama-bizにおいて、生産者、加工業者のセールスポイントを見出しそれを発信するため、物産公社のホームページを開設し、物産公社が保有するFCPシート(商品カルテ)及び、市内生産者への招聘事業などの情報を取引先等へ向けて周知する。  ②オール天草大商談会を1回開催(新型コロナウイルス感染症の影響により年2回から1回に減)及び、市外の取引先を個別招聘等により市内生産者・加工業者等と都市部等取引先とのマッチングを継続して行う。	◆「効果的であった」と評価。  ・Ama-bizに相談後のデータがあれば効果が明確に図れるのではないかとと思う。 (企業創業補助金を活用している場合は3年間のフォローアップ調査を実施)
<b>地方創生拠点整備交付金</b>									
1	観光と漁業の連動で新たな好循環を生み出す天草市イルカセンター整備事業	◆目的 五和町通詞島周辺海域には野生のイルカが生息し、平成5年にイルカウォッチングを開始し、天草を代表する体験型観光となり、多くの観光客が訪れているが、近隣に観光施設等がないため、経済波及効果が発揮できていない。地元二江地区の地域活性化はもとより天草市の観光振興を実現するために、「天草市イルカセンター」を整備する。 ◆内容 【天草市イルカセンター新築】 構造 S造2階建て 延床面積 1,574.24㎡ 敷地面積 2,140.07㎡ 整備概要 ・センター新築 (建築・機械・電気設備工事ほか) ・センター内展示物整備 (イルカと触れ合えるインタラクティブ、イルカ図解展示物、VRシステムによる海中イルカウォッチング、イルカ情報モニター、天草観光情報マップほか)	767,183千円 (383,591千円)	センターの窓口を利用したイルカウォッチング客数  施設利用者数  施設売上高	人  人  万円	10,000  105,000  9,950	0  80,074  11,766	◆事業内容の見直し(改善)を行う  施設利用者数及び売上金額は当初の目標を上回っているが、運営面での課題もあるため、指定管理者である天草漁業協同組合と経営改善に向けた協議を継続していく必要がある。 また、イルカウォッチングについては、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者低下が予想されることから、今後も引き続きイルカウォッチング事業者の受入れ拠点の1本化に向けて協議の場を提供し、地域一丸となった取組の実施を促していく。	◆「効果的であった」と評価。  ・天草のイルカウォッチングは、天草から世界へ発信できる貴重な資源。全体的な発展に取り組んでもらいたい。  ・イルカウォッチングの情報発信や窓口の一本化など、具体的な取組みについて進めてもらいたい。
2	宮地岳観光交流施設整備事業	◆目的 過疎化が進み、地域力の低下が課題となっている宮地岳地区において、閉校した小学校校舎を利用し「道の駅」機能を付した観光拠点を整備することにより、観光客との交流による地域活性化を図るとともに、天草下島の中心部に位置する地勢的利点を活かし、天草市の観光情報を提供することにより島内周遊を促し、天草地域全体への波及効果を高める。 ◆内容 ・既存校舎改修工事 (建築、電気、機械) ・トイレ棟新築工事 (建築、電気、機械) ・外構整備工事 ・施設消耗品 ・備品購入費	275,000千円 (137,500千円)	施設利用者数  施設売上高	人  万円	0  0	施設建設中(令和元年度事業を繰り越して実施)のため、まだ実績値は出ていない。		